

武庫南小だより

平成22年10月号

尼崎市立武庫南小学校

校長 山下 秀男

子どものいいところ探しに励みませんか！！

猛暑もおさまり、秋の訪れが感じられるようになってきました。

学校では、8 時前から運動場に子どもの声が響いています。子どもが登校する前に準備されたトラックの周りにみるみる子どもの数が増え、リレーの練習が始まります。トラックを陣取る上級生と謙虚に直線でバトンパスの練習に励む下級生。始業のチャイムとともに教室へと急ぐ子どもたちに、静まり返った運動場がなんとなく寂しげです。



20 分ほど経ち1校時が始まると、運動場は再び活気を取り戻し、音楽や笛の音とともに、各学年の子どもたちが必死ながら楽しげな顔で練習に励んでいます。教室ではあまり目立たない子どもも、「ここにいるよ」、「がんばってるよ」って顔で先生の指導にこたえています。体育大会本番に向けて、精一杯練習する「しんど楽しげな子どもの顔」は最高です。

「あんな難しいことを練習してたんだ」、「あんな必死な顔、見たことなかった」、「こけちゃうほど懸命に走ったんだね」…そんな声かけを子どもは期待しています。声に出さなくて「大丈夫、あなたならできるよ」…そんなあたたかいまなざしに、もっともっと力強いまなざしを返してくれるはずです。

大人は、いいところ見つけのプロフェッショナルじゃないと…。姿勢や腕の伸び、必死な顔や笑顔、集団としての美しさなどなど、積極的にいいところ探しをしてみませんか。そして、ほんの少しのいいところを、ちょっとしたつぶやきや言葉のくすぐりで、大きく子どもを伸ばしてみませんか。ほめ、認め、成長をともに喜んでくれることを子どもは待ち望んでいます。



体育大会に引き続き、なかよし祭り、凶工展…。2 学期は、子どもを認め伸ばす最高の時期です。

(教頭：平家祐孝)